

「東北・新潟の活性化応援プログラム」2019年支援団体一覧

1. 特別助成団体（助成金：100万円）

団体名（所在地）	具体的な活動内容
大館市まるごと体験 推進協議会 （秋田県大館市）	都市・農村間交流事業の経験が豊富な農家のお母さん達による、地元男性と首都圏の女性との婚活事業を実施する。農業体験や本場のきりたんぼづくり、農家民泊などを通じて、地域の魅力を伝え、人生の伴侶探しの後押しを行い、地域の活性化、および交流人口の増加をサポートする。

2. 助成団体（助成金：30万円）

団体名（所在地）	具体的な活動内容
特定非営利活動法人 コミュサーあおもり （青森県青森市）	不登校の子供たちの居場所づくりのために、フリースクールの新校舎開設に向けた準備を進める。また、フリースクールの運営資金確保を目的にコミュニティ食堂の開設を目指す。
いわてアートプロジェクト 実行委員会 （岩手県盛岡市）	東日本大震災以降、東北に通い続け、東北を伝え続ける二人の海外アーティスト（写真家・建築家）を中心とした作品展を東京で開催し、震災の記憶の共有や防災意識の向上などを目指す。
一般社団法人 チガノウラカゼコミュニティ （宮城県多賀城市）	多賀城の歴史を象徴する地域資源である「古代米」を、地域の誇りとして次世代に繋いでいくため、多賀城市内の全小学校を対象とした、田植え、稲刈り体験を実施する。
市民参加型ミュージカル 実行委員会 （山形県鶴岡市）	動乱の中、都を追われ出羽三山の開祖となった「 はちこ 蜂子の おうじ 皇子」とそれを主導した蘇我馬子。二人のその後の伝承をテーマとしたミュージカルの里帰り公演として、奈良（あすか）公演を実施する。本公演をきっかけに、奈良・庄内の交流人口の増加ならびに両地域の活性化等を図る。
八幡地区地域づくり協議会 （福島県会津坂下町）	2013年より開催している「つるし雛でひなまつり」をスケールアップして実施。同イベントを中核に、地域に存在する文化財や街並み、史跡等を一体的にとらえ発信することで、地域の活性化を図る。
竹灯籠まつり実行委員会 （新潟県村上市）	昨年まで17回開催してきた「むらかみ宵の竹灯籠まつり」の継続実施を通じて、地域の魅力発信、交流・関係人口の拡大、経済の活性化、市民力の向上などを図り、元気なまちになることを目指す。